

前期現場実習報告会

7月1日（金）に、前期現場実習の報告会が行われました。当初は、体育館で実施する予定でしたが、熱中症対策のため、空調機器があるランチルーム、視聴覚会議室に分かれて実施しました。報告の際には、高等部のA教室から映像を配信するなどして、ICT機器の利点を生かしながら取り組みました。

報告会では、一人一人の生徒が、前期現場実習での目標を振り返り、今後の学校生活で何を意識していくのか、卒業後の進路をイメージしながら発表することができました。

（*各生徒の実習報告は玄関前に掲載してありますので、ぜひ、ご覧ください。）

陶芸班の報告の中では、「生活習慣」と「働くこと」との関わりを考え、実際の現場実習だからこそ、効果的に教科の指導内容を学ぶ姿や生徒の気づきが発表されました。



【陶芸班の発表スライドより】

また、1年生は、先輩たちの発表を聞いて、参考になる部分（「伝わる声の大きさ」「難しい時は、担当者に相談する」「気分転換をする。」等）をたくさんメモする様子が見られるなど、ただの発表会ではなく、互いの学びを深める様子が見られました。

校長先生からは、「卒業後のイメージをもって、実習で得たことや経験したことを無駄にせず、生活する力、働く力を高めていって欲しい。」と言葉があり、真剣に聞く姿が見られました。

それぞれの生徒にとって、卒業後をイメージして、さらに自分自身に必要な学習への意欲を高めるきっかけとなる報告会となりました。

